

「バランスシート」って何？

作る目的と見方を紹介

作成する目的

このシリーズ四回目（10月15日号3）で紹介したとおり、市町村の決算は、一年間の収入と支出の結果です。公共サービス提供の状況が、一年分だけ表れています。

しかし、建設した道路や学校

などは、一年間だけ使って終わるものではなく、その後も長年にわたって使い続けます。また、工事の財源に地方債（借金）を充てた場合などは、その返済が終わるまでに、何年もかかります。

このような、年度を越えて公共サービスを提供できる資産の

見方のあらまし

バランスシートは、左側が「借方」、右側が「貸方」に分かれます。

借方は、将来にわたって公共サービスを提供するための「資産」を表します。道路や建物などの有形固定資産、出資金や貸付金などの投資、現金や将来納入される税金などの流動資産に分けられます。

貸方は、その資産がどのように取得されたかという財源を表します。地方債のように返済や支払いを伴う財源で取得したものなどの「負債」と、国・県支出金や、市税などの一般財源で取得し、将来にわたって返済の必要がない「正味資産」で構成されています。

なお、資産は、負債と正味資産の合計と同じ額です。

本市のバランスシート

平成十三年度の本市の資産は四千八百六十億円で、前年度と比べて二・七％増加。また、負債は千三百五十億円で三・九％、正味資産は三千五百十億円で二・

財政状況の指標

3％増加しています。
なお、正味資産は、市民一人当たりになると、百二十四万円あることになります。

企業のバランスシートでは、処分可能な資産である「資本（市町村の正味資産に相当）」がどれだけあるかで、その企業の財務状況を判断します。

一方、市町村では道路や学校など公共資産の多くが、いつでも処分できる資産ではないという違いがあります。

しかし、これらは市民の皆さんが納めた税金で作られ、公共福祉の向上に役立っている資産であること、また、負債がどの程度あるかが一目で分かる点から、市町村のバランスシートも財政状況を判断する一つの指標になるのではないのでしょうか。

○：問い合わせは財政課 890-6542へ。

